



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年11月11日

上場会社名 株式会社サンマルクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二 (TEL) 086 (246) 0309
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	20,286	9.6	3,269	12.8	3,279	12.0	1,574	0.7
22年3月期第2四半期	18,516	3.7	2,897	△6.8	2,929	△6.2	1,563	△0.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	138.98	—
22年3月期第2四半期	138.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	36,236	28,539	78.8	2,519.81
22年3月期	34,251	27,497	80.3	2,427.80

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 28,539百万円 22年3月期 27,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	39.00	—	46.00	85.00
23年3月期	—	42.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	42.50	85.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,319	9.5	6,791	9.4	6,800	8.2	3,380	3.9	298.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	11,388,685株	22年3月期	11,388,685株
23年3月期2Q	62,755株	22年3月期	62,711株
23年3月期2Q	11,325,930株	22年3月期2Q	11,326,034株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報「参考資料」	9
(1) 仕入実績	9
(2) 販売実績	9
(3) 種類別販売実績	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調なアジア地域向けを中心とした輸出や環境優遇政策による耐久消費財の押し上げ効果は認められるものの、一方で急激な円高の進展や株安の影響、海外経済の不透明感などにより景況感を徐々に弱めながら推移いたしました。

外食産業におきましては、回復感に乏しい雇用・所得環境の中で消費者の節約志向は強く、一部の低価格チェーンを除いて苦戦しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは好立地への計画的な新規出店をはじめ、来店動機につながる様々な販売促進策の推進、既存店舗における営業状態の改善などに注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営1店舗、ベーカリーレストラン・パケット直営3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営3店舗、サンマルクパスタ直営1店舗、石焼ごはん倶楽部直営1店舗、石焼チャーハン店直営2店舗、サンマルクカフェ直営23店舗、実験中の神戸元町ドリア直営2店舗、倉敷ハンバーグ直営1店舗をそれぞれ出店し、これにより当社グループ全業態の第2四半期連結累計期間末の合計店舗数は、直営店505店舗、フランチャイズ店127店舗、合計632店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高202億86百万円（前年同期比9.6%増）、経常利益32億79百万円（同12.0%増）、四半期純利益15億74百万円（同0.7%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は110億28百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は21億42百万円（同7.6%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は83億14百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は14億62百万円（同14.9%増）となりました。

(注) 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は後記8ページ「(5) セグメント情報 2. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の調整額の欄に開示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は362億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億85百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は111億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して58百万円の増加となりました。これは主に営業活動による利益の確保等に伴い現金及び預金が3億50百万円増加した一方、売掛金が2億3百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は250億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億27百万円増加となりました。これは資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う建物及び構築物7億91百万円の増加ならびに事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物5億19百万円、敷金及び保証金2億78百万円が増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は49億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億44百万円の減少となりました。これは買掛金が1億25百万円及び未払金が2億4百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、27億54百万円で前連結会計年度末と比較して12億88百万円の増加となりました。これは主に資産除去債務11億88百万円の計上に伴う増加等であります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して10億42百万円増加して285億39百万円となりました。この結果、自己資本比率は78.8%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は24億79百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益28億20百万円の獲得、減価償却費8億40百万円及び資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額3億61百万円等によるものであり、減少の主なものは、法人税等の支払が14億23百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては13億63百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出10億53百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては7億50百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払5億18百万円の資金支出を行ったこと及びファイナンス・リース債務返済支出が2億32百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して3億50百万円増加し、88億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

ただし、今期におけるセグメントの新規出店予定数の配分の変更を主な理由として、平成22年5月12日の決算短信で公表しました部門別（セグメント別）業績予想につきましては、以下の通りといたします。

レストラン事業におきましては、売上高222億80百万円（前期比8.5%増）、営業利益42億97百万円（同6.0%増）を見込んでおります。

ファーストフード事業におきましては、売上高171億33百万円（前期比11.2%増）、営業利益31億18百万円（同12.0%増）を見込んでおります。

なお、全社（調整額）売上高は19億5百万円（前期比5.7%増）、営業損失6億25百万円（前期営業損失6億28百万円）を見込んでおります。

(注) 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は全社（調整額）として開示しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ45,176千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は415,491千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,204,156千円であります。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,848,314	8,497,601
売掛金	1,741,929	1,945,734
商品	245	342
原材料及び貯蔵品	174,909	152,026
その他	433,263	545,335
貸倒引当金	△13,400	△13,788
流動資産合計	11,185,262	11,127,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,313,983	11,003,076
土地	2,592,943	2,592,943
その他（純額）	1,794,966	1,582,940
有形固定資産合計	16,701,894	15,178,961
無形固定資産		
その他	90,306	80,843
無形固定資産合計	90,306	80,843
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,790,871	6,512,871
その他	1,468,162	1,351,240
投資その他の資産合計	8,259,034	7,864,112
固定資産合計	25,051,235	23,123,916
資産合計	36,236,497	34,251,169
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,148,640	1,274,076
未払金	1,522,915	1,726,997
未払法人税等	1,329,205	1,406,095
引当金	104,633	42,937
資産除去債務	15,620	—
その他	821,765	837,632
流動負債合計	4,942,781	5,287,739
固定負債		
引当金	57,488	51,825
資産除去債務	1,188,535	—
その他	1,508,454	1,414,390
固定負債合計	2,754,477	1,466,215
負債合計	7,697,259	6,753,955

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	23,951,704	22,898,638
自己株式	△175,441	△175,286
株主資本合計	28,546,240	27,493,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,698	19,307
為替換算調整勘定	△14,700	△15,422
評価・換算差額等合計	△7,002	3,884
純資産合計	28,539,237	27,497,213
負債純資産合計	36,236,497	34,251,169

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	18,516,187	20,286,104
売上原価	4,193,192	4,482,307
売上総利益	14,322,995	15,803,797
販売費及び一般管理費	11,425,181	12,534,201
営業利益	2,897,813	3,269,595
営業外収益		
受取利息	1,622	3,822
受取配当金	2,496	2,259
受取賃貸料	56,956	45,570
受取補償金	25,059	—
その他	23,532	31,488
営業外収益合計	109,667	83,140
営業外費用		
支払賃借料	46,335	39,360
持分法による投資損失	1,810	503
その他	30,099	32,917
営業外費用合計	78,245	72,781
経常利益	2,929,235	3,279,954
特別利益		
固定資産売却益	—	3
貸倒引当金戻入額	280	387
投資有価証券売却益	—	890
特別利益合計	280	1,281
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	35,249	51,914
減損損失	128,646	47,840
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	361,460
特別損失合計	163,897	461,215
税金等調整前四半期純利益	2,765,618	2,820,020
法人税、住民税及び事業税	1,202,700	1,353,110
法人税等調整額	△607	△107,150
法人税等合計	1,202,092	1,245,959
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,574,060
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,563,526	1,574,060

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,765,618	2,820,020
減価償却費	697,715	840,080
減損損失	128,646	47,840
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	361,460
その他の引当金の増減額 (△は減少)	80,309	67,359
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△277	△387
受取利息及び受取配当金	△4,119	△6,081
支払利息	6,532	5,882
為替差損益 (△は益)	12,342	14,189
持分法による投資損益 (△は益)	1,810	503
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△890
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△3
固定資産除却損	35,249	51,914
売上債権の増減額 (△は増加)	172,313	203,804
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,337	△22,785
仕入債務の増減額 (△は減少)	△131,596	△125,436
未払金の増減額 (△は減少)	△98,251	△290,118
その他	126,948	△61,592
小計	3,782,906	3,905,759
利息及び配当金の受取額	2,932	2,520
利息の支払額	△6,232	△5,858
法人税等の支払額	△1,257,828	△1,423,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,521,778	2,479,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△744,756	△1,053,510
有形固定資産の売却による収入	19	—
有形固定資産の除却による支出	△9,602	△4,527
無形固定資産の取得による支出	△4,291	△21,442
投資有価証券の取得による支出	△39	△35
投資有価証券の売却による収入	—	1,859
資産除去債務の履行による支出	—	△3,532
その他	△239,102	△282,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△997,772	△1,363,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△771	△155
自己株式の売却による収入	128	—
配当金の支払額	△438,926	△518,005
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△152,604	△232,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592,174	△750,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,342	△14,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	919,488	350,713
現金及び現金同等物の期首残高	6,510,970	8,497,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,430,458	8,848,314

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、外食事業を展開する上で必要なインフラ機能（業態・商品開発機能、店舗開発機能、教育機能、管理機能等）を保有する持株会社であり、グループ内の事業子会社が保有する既存の業態（既存店）の運営にできるだけ専念できる環境をつくるなどグループ内の機能設計を行っております。また各連結子会社はそれぞれ外食業態の運営を行っております。

したがって、当社グループは連結子会社を基礎としたセグメントから構成されており、「レストラン事業」及び「ファーストフード事業」の2つを報告セグメントとしております。

「レストラン事業」は、「ベーカリーレストラン・サンマルク」等の運営、「すし処函館市場」の運営、「ベーカリーレストラン・バケット」等の運営、「生麺工房鎌倉パスタ」等の運営及び「広東炒飯店（石焼ごはん倶楽部・石焼チャーハン店）」等の運営を行っております。「ファーストフード事業」は、「サンマルクカフェ」の運営を行っております。

2. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	11,028,903	8,314,609	19,343,513	942,591	20,286,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,028,903	8,314,609	19,343,513	942,591	20,286,104
セグメント利益	2,142,427	1,462,882	3,605,310	△335,714	3,269,595

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価201,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,076,784千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は前記8ページ「(5)セグメント情報 2. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の調整額の欄に開示しております。

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	2,633,484	107.3
ファーストフード	1,659,352	106.0
合計	4,292,836	106.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	11,028,903	109.8
ファーストフード	8,314,609	109.4
合計	19,343,513	109.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第2四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類別 セグメント	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
レストラン	9,580,721	113.8	403,969	80.7	1,044,212	92.5	11,028,903	109.8
ファーストフード	8,056,775	109.6	43,332	103.9	214,501	105.2	8,314,609	109.4
合計	17,637,497	111.8	447,301	82.5	1,258,714	94.4	19,343,513	109.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。